



▲ 1・2・3_緊張の面持ちでプレゼンテーションを行う両校の代表生徒
 4_成果物を手にしながら発表 5_発表に合わせてパソコンを操作する
 6_会場から出た質問に丁寧に答える小笠高校生徒 7_発表に聞き入る会場
 8_出席者から質問が出される

特集



トピックス

昨年1月に開催された「第1回高校生まちづくりプレゼンテーション大会」には、小笠高校、常葉大菊川高校から各2グループ17人が参加。「美術の力を使って地域に貢献」「菊川の教育・子育て」「起業で解決」「若者が創るまち」の4つのテーマで発表がありました。この中で、常葉大菊川高校美術・デザイン科のグループが提案した、菊川の魅力をマンガで紹介する企画が実現しました。

市と高校生のコラボマンガ「菊川きくのとチャラリーマン〜菊川恋の物語〜」は、市が平成27年に発行した「菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 概要版」に掲載されている内容をマンガで紹介したもの。文字が多い冊子を、「若い人たちにも手に取ってもらい、菊川の魅力を知ってもらいたい」と考え、親しみやすいマンガで描くことに挑戦しました。高校生が企画・提案したこのマンガが、芸術文化活動の支援などに取り組む市内のNPO法人アートコラールきくがわの協力により今年1月に製本・印刷され、市内の公共施設や市外で開催されるイベントなどで配布されています。

※高校生が考えたコラボマンガは、市ホームページ (<https://www.city.kikugawa.shizuoka.jp/kikakuseisaku/miraigakukouza.html>) でもご覧いただけます。



▲菊川の魅力が詰まった冊子

1年間の活動成果を発表

両校の生徒が、1年間の活動成果を多くの関係者に紹介し、評価いただく

常葉大菊川高校では、「未来学講座」の名前で年間をとおしてさまざまな講座を開催。ディスカッション、ワークショップなどの経験を通じて主体的に学び、発信していく力を身につけるための活動を実施しています。今年度は全5講座を開催し、58人の生徒が参加しました。

機会として、高校生まちづくりプレゼンテーション大会を開催しています。今年度も、1月18日にプラザけやきで2回目の大会が開催されました。太田順一市長をはじめとする市関係者や地域の代表者、学校関係者などおよそ70人が出席。小笠高校と常葉大菊川高校を代表し、各2グループ35人が、自分たちが考える市の課題やそれに対する解決策を発表しました。次ページからは、各グループのプレゼンテーションの概要やプレゼンテーションに至るまでの活動の様子などを紹介します。